出前授業実施テーマリスト

大阪ユニセフ協会

2026 年 10 月現在

✧ 下記テーマリストは標準的な内容を列記しています。A. ユニセフ基本学習は必須となり、B.と C.はそれぞれ No を選びます。

授業の組み合わせ　① A＋B（45分）　② A＋C（45分）　③ A＋B＋C（90分）

✧ Teams を使ったオンライン授業も対応しています。

✧ ご希望の学習内容を出前授業依頼票に希望する内容を記載し、お送りください。なお、詳細は担当ボランティアとご相談ください。

A. ユニセフ基本学習

内　容	所用時間
ユニセフってなに？・・・「ユニセフの歴史」「ユニセフの組織」「子どもの権利条約とユニセフの働き」「ユニセフの役割」など	約 15 分
ユニセフ募金と募金でできること（ユニセフ支援物資紹介）	

B. テーマ別学習

No	内　容	所用時間
1	平和学習・・・「紛争」「難民」「地雷」 など	各 30 分～45 分
2	国際理解・教育問題・・・「学校に行けない子どもたち」「児童労働」「子ども兵士」「児童婚」 など	
3	子どもの命と成長・・・「栄養」「水と衛生」「感染症と予防接種」など	
4	地球環境問題・・・「気候変動」など	
5	SDGs（持続可能な開発目標）・・・「なぜ SDGs？」「ユニセフの SDGs への取組み」「SDGs 実現のために私たちにできることは？」 など	

C. ワークショップ

No	内 容	所用時間
1	フォトランゲージ 世界の子どもたちの厳しい状況を写した写真を見て、何を感じたかをグループで 話し合い、意見をまとめることを通じて、世界の子どもたちの現状についての理解を深めます。 人数 ： 1グループ 6～8名 × 10グループ程度まで	45～50分
2	100人の村から 世界を 100 人の村に見立て、それぞれに配られた役割カードに従って移動するゲームで、世界の人口、水と衛生、栄養、富の配分の不均衡について学びます。 解説を交えながら貧困から派生する各種問題に苦しむ子どもたちの状況を考えます。 人数 ： 概ね50～150人	45～50分
3	緊急時に持ち出すものは？ グループに分かれて、災害に見舞われたり、紛争に巻き込まれたときに何を持ち出すか？ 品物の名前・絵が描かれたカードの中から決められた個数を選びます。 各グループが持ち出すものを発表した後、さらに持ち出し個数を減らさなければならない状況が発生したことを想定して、どれを捨てるかを考えます。 人数 ： 1グループ 4～6名 × 10グループ程度まで	45～50分
4	クイズで学ぶ 世界の様々な課題を、クイズ形式で子どもたちに問いかけ、一緒に考え、体験することで、世界の子どもたちの厳しい現実について学びます。 世界の人口、栄養、水と衛生、教育などの課題や関連する問題について説明し、世界の現状に理解を深めます。 人数 ： 概ね20～200人	45～50分
5	支援物資見学と体験 ① 水汲み体験（水がめ運び） ② マラリヤ予防の蚊帳展示・体験 ③ 地雷レプリカ展示・見学 ④ ユニセフ支援物資の展示・見学 上腕計測メジャーでの栄養不良児検査	内容に応じて設定
6	SDGs ゲーム SDGs（持続可能な開発目標）の本質を体験的に理解する目的で、グループ協力をし、共通目標の達成をめざして問題解決につながることを学びます。金沢工業大学が開発した「トレードオフカード」と「リソースカード」を使いトレードオフテーマの解決方法を考え、一つのストーリーを組み立て発表します。 人数 ： 1グループ 4名 × 10グループ程度まで	45～50分